

平成23年度一般会計決算を不認定

市議会第3回定例会を9月3日から10月1日までの29日間の会期で開催し、議案28件、陳情2件を議決しました。

なお、「子どもの権利と未来を守る条例」と「事務手数料条例の一部を改正する条例」の2議案は、引き続き継続して審議することになりました。(8頁参照)

一般質問では、23名の議員が5日間にわたり、市政運営に関して市長等と活発な議論を行いました。(2～6頁参照)

秋の実り (武蔵国分寺跡)

一般会計決算は3年連続で不認定に

決算議案の審議は、今後の市の行財政運営に資するため、前年度の予算執行状況やその効果の評価等を行うなど議会の監視機能を果たす重要な審議です。

平成23年度の一般会計と7特別会計の決算議案は、決算特別委員会を設置(片畑智子委員長、皆川りうこ副委員長。議長と議会選出監査委員を除く22名で構成)し、9月24～26日の3日間に亘り審査を行いました。

平成23年度の決算は、一般会計の実質収支額は7億90万円の黒字であるものの、前年度の実質収支額を差引いた単年度収支は1億2,834万円の赤字であり、また全会計総計の実質収支額は3億201万円の黒字、単年度収支は3億1,075万円の赤字というものです。

委員会での主な質疑としては、財政運営に関する質疑として、委員より、現在の市の財政運営は、前年度の剰余金と各基金の取崩しに加え、各種事業を廃止・縮減し、歳出を抑制することによる「収支均衡型予算」の維持を目的としたもので、基金残高も枯渇し、防災対策などの喫緊の行政課題にも対応する財源もない状況にある。こうした行政需要に対応する財源を確保するため、積極的な基金の積増しを行う財政運営へ転換すべきであり、臨時財政対策債の活用も検討すべき、と質したのに対し、市長より、取崩しにより基金残高は減少しているが、次世代への負担の転嫁を避けるため、起債残高を減らし借金に頼らぬ財政運営に努めてきた。今後も効率的な行政運営に努め、それにより派生する剰余金を可能な限り基金に積立てるとともに、引き続き収支均衡型予算を維持する財政運営に努めていく、との答弁がありました。また委員より、現在貸付している旧ひかり保育園用地を

含め、処分可能な普通財産の売却を行うべき、と質したのに対し、指摘の貸付用地については、契約の更新を経た後に、将来的に売却していく方向で調整する、との答弁がありました。

また委員会審査では、議案に付された監査委員からの意見書で指摘された事項に関する質疑により、次のような不適切な予算執行等が明らかになりました。

まず一つ目としては、選挙管理委員会実施の明るい選挙推進協議会の日帰り研修に選挙とは関係のない視察先(温泉、酒蔵)が生まれ、この経費の一部を支出していたことや当該研修の決定に際する事務処理も不適切なものであったこと。またこの研修に関しては3月の予算特別委員会でも議論となったにもかかわらず、その際詳細な説明が行われていなかったこと。二つ目として、「特定健診等データ管理システム」の利用に関し、個人情報保護審議会より当該システムの使用は個人情報の目的外使用に当たるとの指摘を受け、利用不可の状況にあったにもかかわらず、数年に亘り機器借上料等を支出していたこと。この原因が、事業開始前に個人情報保護審議会に諮問していなかったこと。また、その経過の議会報告を怠っていたこと。三つ目として、「消費生活相談員」の業務として条例上規定されていない研修参加に対して報償が支払われ、しかも休日参加として加増して支出していたこと。四つ目として、昨年発覚した本町四丁目臨時自転車駐車場使用料横領事件による契約解除により、新たな指定管理者へ業務が引継がれ、その際に修繕すべき箇所が発覚したが、前指定管理者が報告していなかったことや市がその修繕料を他の事業より支出していたこと。また、その経過の議会報告を怠っていたこと。

これらの不適切な事務執行や会計処理、さらに議会報告を怠ったことに対しては、各委員から是正と猛省を強く求める発言があり、今後担

当委員会への詳細な報告を受けて対応することとなりました。

委員会では、各事業に対する様々な質疑も行われ、その主なものとしては、指定管理者の使用料横領により自転車駐車場使用料の一部が未収入であることについて、前期基本計画事業や事務事業の問題意識を欠く評価結果について、根拠なき選挙手当支給の早期改善について、災害時支援を踏まえた姉妹都市交流のあり方について、女性職員による防災訓練等での被災地支援活動の報告について、情報漏えい防止のための情報セキュリティ確保について、電算システム一元管理に向けた組織体制について、敬老会の開催について、地域生きがい交流事業の費用対効果や介護予防の視点からの事業検証について、各種がん検診受診率向上の取組みについて、生ごみ減量施策の推進について、リサイクルトレットペーパー販売価格の見直しと販路拡大について、都市計画道路3・2・8号線用地の適正管理について、都市計画道路3・4・6号線の市民説明会の開催について、違反建築物への厳格な対応について、演劇鑑賞教室の再開について、市民参加の機会を欠く学校給食調理アウトソーシング実施計画について、実績を踏まえた予備費計上について、等々の発言がありました。

委員会では、以上の審査を経て採決を行った結果、一般会計決算は賛成少数で不認定となりました。また国分寺駅再開発事業特別会計決算、国民健康保険特別会計決算、介護保険特別会計決算は賛成多数で認定に、その他の4特別会計は全員賛成で認定と決しました。

また本会議においても、同様の議決結果となりました。

なお一般会計の採決に際し、各会派より討論が行われました。(6～8頁参照)

次ページに続く▶

一般会計補正予算(第2号)を賛成多数で可決

本案は、歳入歳出予算の総額に6億6,403万5千円を追加して総額を396億3,934万2千円とし、小学校給食調理業務委託事業等の債務負担行為の追加等を行うというもので、主な内容は、歳入において、財政調整基金繰入金1億6,400万円、前年度繰越金3億90万円を増額し、歳出において、国庫支出金等返還金1億3,187万円、焼却場施設修繕経費4,664万円、基金積立金3億5,175万円を増額し、国分寺駅北口再開発事業特別会計繰出金を600万円減額するものです。

本案は、8名で構成する補正予算審査特別委員会(甲斐よしと委員長、新海栄一副委員長)

を設置し、9月21日に審査を行いました。

委員会での主な質疑としては、委員より、小学校給食調理業務の委託化に関し、計画策定過程でパブリック・コメント等の市民の意見を聴取する機会を設定しなかったのは自治基本条例に反する、との指摘に対し、教育長より、教育委員会では、パブリック・コメントは実施しないが、市民全体説明会・実施校説明会における意見を事業の実施に活かし、スケジュールに沿って事業を進めていくことを決定した、との答弁がありました。また委員より、現場での指揮命令の有無や労務実態によっては「偽装請負」となる、との指摘に対し、担当より、委託化に当たっては法に抵触せぬよう十分留意するとともに給食の質の維持に努める、との答弁があり

ました。さらに委員より、学校給食調理職員の調理業務の就労日数が少ない実態があることや調理残渣量が大量に発生している実態もあり、無駄のない効率的な調理が行われているか疑問を抱く。よって委託化を推進すべき、との意見がありました。

その他、委員より、新たに導入される内部事務系システムの効率的な調達について、避難所指定を想定した児童福祉施設への備蓄品の配備について、照明灯・街路灯の料金値上後の電気代について、ワクチン変更後のポリオ予防接種について等々の質疑がありました。

委員会では、以上の審査を経て採決を行った結果、賛成多数で可決すべきものと決し、その後の本会議においても賛成多数で可決しました。

市政を問う 平成24年第3回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

要旨については、一定のスペース内で各議員が自由な様式でまとめたものを質問順に掲載しています。

日常の不平・不満より小さな幸せを大切に



無会派(みんなの党) いう 太郎

Q. 最近マスコミでは、子どもや女性のいじめや虐待についての報道が連日後を断ちません。そこで今回は新たな手法で質問いたします。

- ① 保育園の数や量そして待機児童の問題
- ② 延長保育などの質の向上
- ③ 親子・子ども支援などのいじめ等の課題

国分寺市の保育行政の中で上記の項目の内、何が最重要課題と認識しているのか?そしてその理由をご答弁いただけます。

A. 子ども福祉部長) どれも重要な課題ですが、児童虐待を未然に防ぐことだと思います。特に子どもの安全という考え方だと思います。妊娠期から保護者へのサポートが大切です。

Q. 健診・ワクチン・保健室や学校医、今回の課題は市の様々な部署に係る重要な課題なので全庁をあげて子どもを守って欲しいと思います。

Q. 市内の都市計画道路の整備率は隣接している5市の中で最低です。今後の対応は?

副市長) 今議員から質問がありましたとおり、多摩地区の整備率は平均で58%で国分寺市は20%です。さらなる努力をしたいと存じます。

Q. 道路網は他市と繋がっているから都市計画道路であり、どことは指摘いたしません、国分寺との市境は急に狭くなり、危険な場所は多数あります。また3・2・8号線を縦とすると横(東西)の道路が整備されなければ、生活道路に抜け道と称して入り込んでくるかもしれません。このような現状について考えを伺いたい。

副市長) 市の中で優先順位を整理した上で、東京都と十分意見交換をして方向づけをしたい。

福祉避難所設置は重要市の早期対応を望む



公明党 さの 久美子

1. 認知症対策について

認知症サポーター養成講座の市内事業者への実施状況は。市) 信用金庫職員に実施した。今後も市内事業者に拡げていきたい。さの) 早期発見、早期対応のためにHPでの効果的な情報提

供を望む。市) 医師会と連携強化し、進めたい。

2. 自転車対策について

3年前に質問した「内藤橋街道の歩道の安全対策」進捗状況は。市) 電信柱移設など、協議中。市長) 一步一步改善を図ってまいりたい。

3. 安全・安心のまちづくりについて

(1) 防災会議女性委員の人選対象は。市長) 条例改正案を今議会に提案した。女性中心に構成されている団体や防災関連団体から委嘱したい。

(2) 災害時要援護者の方々には専門性の高い福祉避難所が必要と今まで訴えてきた。市として進める考えはあるか。市) 福祉避難所は急務と認識。乳幼児施設として、市立保育園を二次避難所として位置付け、0-2歳乳幼児と家族を受け入れる。障がい者や高齢者も市内福祉施設に緊急受け入れを要請し、協議中。協議中の私立保育園とともに、協定提携して福祉避難所としての位置づけを目指す。要援護者の移動手段の確保としてNPO法人国分寺ハンディキャブ運営委員会と協定締結調整し、9月中旬に締結予定。

(3) 災害時の情報を広く周知するために、携帯電話の緊急エリアメール導入を求める。市) 9月末に緊急速報メール配信サービス運用開始予定。

(4) 給水スタンドパイプを全地区防災センターに装備を。市) 設置できる方向で考えていきたい。

市長の政治姿勢について次期の考え方は



自民党新政クラブ 須崎 宏

問) 市長の政治姿勢について次期の考え方は。市長) 御意見は真剣に受けとめ私には私の秘めた思いがあり私の判断で表明したいと思います。

問) 国分寺消防署本署用地について進捗状況は。部長) 東京都及び東京消防庁と調整協議を行っており、武蔵国分寺公園横の公有地に絞って進めている。今、市が購入方法、時期を含めて東京都財務局、消防庁、国分寺消防署と調整を行っている状況。

問) 史跡公園整備・農地の追加指定について。部長) 保存計画第2次の中の史跡指定拡大範囲という中において、基本的には指定をし、追加指定をしていく考えです。

問) 七重の塔周辺の石造りの建造物について。部長) 石造りの七重の塔をつくる計画をしたが、史跡指定区域内にあり今後公有化をめざす。

問) 旧本多邸に移設した七重の塔保存について。部長) 園になじんできていると思うので、塗り

かえの方法、財政状況含め実現に向け検討する。

問) 野川整備の進捗状況と今後の課題について。市長) 都の建設局長に直接陳情という形で早急な整備が必要であるということ要望した。

副市長) 治水安全上も今ゲリラ豪雨が多いことと親水的要素も含めて必要性は高いということ訴え、早急に事業化に向けて調整をしていく。

問) 市内観光について馬車運行の問題は。副市長) 馬の居場所、運営主体、経費3つが課題と思ひ御指摘があり検討させていただきます。

問) ぶんバスけやき万葉ルートの進捗状況は。部長) 検討を進めており、もうすこし時間を。

無駄を省き、最大限の市民サービス向上を!



公明党 なおの 克

●情報システムについて

問) 教育委員会や各学校独自で調達し、全体の資産管理ができていないのは問題ではないか? 教育次長) 調達が複数契約に分かれ、重複投資等、課題がある。整理して一本化を進めていく。

●コンビニにおける証明書等の交付について

問) 各種税、証明書等を全国提携コンビニから祝祭日でも入手可能。手数料も安く市民サービス向上に繋がる。早々に検討、実施を求めたい。

市民生活部長) 利用率拡大で確実な経費の削減、窓口のスリム化、市民サービスの向上の大きな成果を生む。平成27年目途に検証に入っていく。

●図書館について

問) 24時間365日どこでも沢山の利用者が閲覧できるWeb図書館サービスを開始すべきでは? 教育次長) できることから取り組んでいく。

問) 図書館のリサイクル本を利用して、バス文庫コーナーを設置したら、いかがか? 教育次長) 多くの方にリサイクル本に触れる機会をつくるのは非常に良い。研究させて頂く。

●電子書籍版「広報誌」について

問) 市報や「暮らしのガイド」等、市の広報誌を広く利用して頂く為に、電子書籍化しては? 政策部長) モバイル化はさらに進む。まずは「暮らしのガイド」から試行的に取り組む。

●通学路の安全対策について

問) 子ども達に現地で教え、主体的にリスク回避できるような交通安全教育の取組みを求める。

教育長) 実践的、体験的な機会をつくり、自らが安全な行動とれる指導に力を入れて参りたい。

行政改革 民間委託と仕事の見える化



無党派（みんなの党） おざわ 脩

①学校給食調理業務アウトソーシングについて
おざわ) 学校給食調理業務は年間何日行われていますか？

教育次長兼教育部長) 学校給食は夏休みや冬休みなどがある関係で年間188回の給食の提供を行っている。

おざわ) 学校給食調理業務のアウトソーシング実施計画は28年度までに10校ある小学校の内、5校がアウトソーシングされ、残りの5校に関しては未定というスピード感が無い計画です。現計画の前倒しも含め、あらゆる可能性を検討してできる限り早くに学校給食調理業務のアウトソーシングを行うべきである。

②図書館業務の民間委託について

おざわ) 図書館運営をアウトソーシングすることによっての開館時間の拡大などサービスの向上が考えられるが取組の状況は？

教育次長兼教育部長) 現在、図書館運営について指定管理者導入、一部業務委託、一部委託化に伴う直営の継続など検討していく。

③行政の仕事を見える化

おざわ) 市長の市政運営方針に沿って仕事を進めている部や組織の責任者である部長などが、1年間を通して、どんなことに取り組むのかを市民に明らかにした(仮称)部長マニフェストの様なものを作り公表すべきでは？

政策部長) 部長のマネジメント意識の向上と市民への説明責任につながるものと認識している。勉強をさせていただいて、なるべく早いうちに公表していきたいと思っている。



将来の為に 緑や農地の減少を抑える努力を

自民党新政クラブ 田中 政義

1. ぶんバス北町ルートについて

問) 現在の検討状況は？
都市建設部長) 見直しの検討委員会を開いている。その中で恋ヶ窪駅を回るルートや採算性等を含めて検討を始めたところである。

問) 今後のスケジュールについては？

都市建設部長) できる可能性を検討しながら、なるべく早い時期に結論を出していきたい。

2. 商業振興と安全対策について

●国3・4・12号線と周辺道路について

問) 北口再開発は再開発地域だけでなく周辺道路の整備もあわせて進めていく必要があると考える。3・4・12号線の今後の整備方針は？

都市建設部長) 再開発に合わせて整備する事が活性化につながるものと考えている。28年事業化に向けて努力していきたい。

3. 緑の保全について

問) 相続税等により市の緑である農地や樹林地が減少していく事についての対策は？

市長) 都内で農地を有する38の自治体で連携して国や都に農地の保全を働きかけている。畑だけでなく農業施設がある用地や屋敷林など農業経営に必要な土地についても相続税、納税猶予制度の対象としてもらうこと、市長会において

は生産緑地制度の拡充も併せて国に要望してもらうよう求めている。都市農業、農地の果たす多面的な役割は大変重要なものである。維持していけるように努力していきたい。

田中) その他、商業振興策、緑地に対する課税制度、今後の消防団活動について等質問した。

全庁的なカーシェアリングの 推進をのぞむ



自民党新政クラブ 新海 栄一

新海) 西恋ヶ窪臨時駐車場の庁用車の稼働状況があまり良くない。どのように認識しているか。

総務部長) 総務課で管理している12台は貸出し用なので稼働率は良い。現在環境に配慮して極力車を使わない方向であることも影響している。新海) 環境への配慮は了解した。また終日稼働している車も確認している。しかしまったく動いていない車もある。13日間の調査で13日間1回も利用されていない車が1台、11日間、9日間、8日間まったく動いていない車も数台ある。今後庁用車の台数を減らし、カーシェアリングを進め、経費の節約をお願いしたい。

総務部長) 貸出し用の12台は稼働率が高く、車を使いたい時に使えない課もある。今後全庁的なカーシェアリングについて考えてみたい。

新海) ちなみに市長車は18年使っている。故障や事故が心配なので適切な対応をお願いしたい。

新海) 先日、青色パトロールカーの講習会を受講したが、いつから運行になるのか。

総務部長) 本多地区では自主防犯のパトロールをしていただくことになった。早ければ10月中旬からの運行が可能(後に11月1日に決定)。

新海) 公民館運営審議会は長い間社会教育、地域の学習の場としての公民館の運営について大きな役割を果たしてきたが、他の審議会に比べ、回数が2~3倍、経費は3~5倍かかっている。そろそろ一本化する時期ではないか。

教育部長) 地域特性や地域の課題の発見、情報提供などに取組むため5館に設けている。今後全体を見据えた中で課題として検討してみたい。

いじめの解決は 早期に芽を摘むスピード対応



公明党 高橋 りょう子

1. いじめは圧力やスローガンではなくならず。「いじめはいじめた側が100%悪い」との毅然とした態度と子ども達の変化や情報をキャッチした初期段階で速やかな事実把握と芽を摘むスピードある対応が解決の根幹。根絶対応を。

市) 指摘は共通認識。担任一人任せではなく学校・教育委員会組織が全力挙げ迅速に対応する。

2. 病気の早期発見早期治療の為、他市の事例も参考に健康診断受診率向上の取り組みを。

市) 土日祝日検診や医療機関での受診、近隣市の事例を参考に健診受診率向上の検討をする。

3. 防災推進委員会発行「私の緊急カード」が大変有効。高齢者には拡大版を、防災意識啓発の為、窓口で市民サービス提供してはどうか。

市) 事業の推進母体と協議し調整を図りたい。

4. 聴覚障がい者は電話相談が困難。市役所発行書類や封筒にFAX番号記載等、障がい種類に寄り添った細やかな相談体制の対応を望む。

市) 全庁各課で見直しをかけ対応する。

5. 北町地域の交通不便解消を問う。北町市民の高齢化など公共交通の必要性は必須。実現に向け真剣に考えるべき市長の英断を！

市長) 高齢化に伴い充実を図るべきと考える。

6. 国立駅南北通路の降車通行(自転車)許可を。国立駅東側車道は自転車走行には危険が高く国分寺市民の要望は南北利用。安全確保の取組を。市) 改めて管理者の国立市、JR等に要望する。その他) 高齢者の見守り。避難所誘導ボランティアに中学生の活躍を。夫や息子さん等男性介護者の孤立に支援の手を。など質問しました。

女性管理職は 25%を目標にすべき



政策市民会議国分寺 及川 妙子

1. これまでに質問した事項の確認

①学童保育の一斉降所について、実態調査の結果は？→746人中297人調査した。家に一人でいるのは94人でそのうち1時間以上は28人。

②歯磨き指導について=校長連絡会で重要事項として討議してほしい。

③西国分寺駅の改良工事について=地元との連携をもっと図ってほしい。

2. 泉町2丁目日本芸術高等学園前の信号機設置について→地元警察から警視庁に平成17年に上申している。→信号機が無理なら横断歩道を。

3. 市民防災まちづくり学校について

①災害危険調査報告書の町丁目危険度ランキングのグラフはいたずらに住民の危険をあおることになるのではないかと。→今回は誤解のないように配慮する。

②指定されていない市の施設に市民の方が避難してきたらどうするのか？→市内17ヶ所の地区防災センターに避難していただくのが原則だ。

4. いじめ問題について=いじめの相談があった時の具体的対応は？→丁寧に1件1件対応し、事実を把握して、解決にむけて取り組んでいる。東京都の緊急アンケート調査の結果、いじめと断定できるものが18件あったが把握していたか？→すべては把握していなかった。

命にかかわる問題なので、加害者対応をして。

5. 女性管理職について=国分寺市の女性管理職は64名中3名、4.7%で多摩26市中ワースト4。20%以上が3市、10%以上が11市ある。係長の四分の一は女性らしいので25%をめざすべきだ。

閉会中の委員会

第3回定例会終了後、平成24年第4回定例会までの間に開催する委員会は下記のとおりです。

- 10月18日(木) 議会運営委員会・代表者会議
- 10月29日(月) ※文教委員会
- 11月1日(木) 厚生委員会
- 11月5日(月) 子どもの権利と未来を守ろう条例審査特別委員会
- 11月7日(水) ※建設環境委員会
- 11月8日(木) 総務委員会
- 11月12日(月) ごみ対策特別委員会
- 11月13日(火) 国分寺駅周辺整備特別委員会
- 11月26日(月) 代表者会議・議会運営委員会

委員会は、市役所第1庁舎3階第2委員会室で午前9時30分から開始予定です。委員会はどなたでも傍聴できます。※文教委員会は午後2時、建設環境委員会は午前11時開始を予定しています。

議事担当 (内468)

子ども達の未来の為に 教育者として矜持を！



自民党新政クラブ 楠井 まこと

問) 財政が厳しい折、市民サービス向上に広域連携が注目されているが当市での取り組みは？
答) 府中、国立市とは図書館の相互利用が行われており、今後は小平市と図書館その他の施設の相互利用を試験的に行う準備をしている。

問) 広域連携を進める中で立川断層周辺の自治体で共同の防災訓練を行う事も検討して欲しい。
答) 消防団の訓練場所などが限られている当市においては有効であると考えている。検討したい。

問) 西町で大変重大な強盗事件が発生したが、そんな折、けやき台団地入口にある西町交番が移転との話を耳にしたが？
答) 建物の老朽化、パトカー駐車スペースが無い事などから26年度に移転を予定している。

問) 中央線高架化が完了し、線路跡に側道が完成予定だが、市内の交通に与える影響予測は？
答) 予測は行っていないが、道路の選択肢が増え、交通の分散が見込まれるので西町、光町付近の交通には影響があると考えている。

問) いじめ問題が大変注目されているが、指導力不足教員問題について当市の状況は？
答) 東京都教育委員会が定義している指導力不足教員は国分寺市においては存在しない。

問) 市民から学校の先生に関する相談を数多く頂く。子ども達の未来を守るべく、労働者である以前に教育者として、矜持を示して頂きたい。
答) 教育委員会として、いじめ等の問題を発生させないよう指導力を高め、子ども達の為に一生懸命頑張る教員のサポートをしっかりと行っていきたいと考える。

市民との協働で 地域福祉のまちづくり



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

1. 地域福祉のまちづくりについて

問) 地域福祉計画策定の進捗状況は？

答) 地域のひろばをきっかけとした実体的な地域づくりと並行して平成27年度を目途に計画を策定していきたい。

問) 認知症支援を進めることが地域福祉のまちづくりにつながると考える。地域で共に行動する人を増やしていくために、認知症サポーターを横につなげるシンポジウム開催を提案。
答) どのような形がいいのか、社会福祉協議会や地域包括支援センター等と相談していく。

問) 介護を社会全体で担うとする介護保険制度だが介護する家族への直接支援の考え方がない。介護者の社会参加が保障され社会から隔離されない配慮が必要。次期高齢者保健福祉計画策定時には、当事者の声を聴きながら介護者支援を一本の大きな柱として計画に位置付けを！
答) 重要な問題として認識している。

問) 学校にも家庭にも居場所のない厳しい状況にある子どもたちが、ありのままの自分である小さな居場所を市民との協働で市内のあちこちにつくっていくことを提案。
答) 現在開催しているワークショップに十分

な議論をしていただけるよう働きかける。

3. 道路管理、公園整備について

問) 道路問題は福祉だ。道路や公園の状態はそこを使う市民が一番把握している。危険箇所等市民から情報収集する工夫を！公園の看板に連絡先を記載し現場から連絡できる環境整備を。

ぶんバス事業の収支改善で 新ルート実現を



公明党 木島 たかし

1. 地域バス新ルート実現のための具体策

問) 万葉けやき公園ルートは元町通りと旧植木交換通りの両方を通ることが地元住民の願意。狭い道路の対策として、小金井市が導入している小型サイズでの運行も真剣に検討すべきだ。
答) 収支に問題があると考えているが検討したい。

問) 多摩地域のコミュニティバスで料金100円は35%で他はそれ以上の料金。収支を改善し全ルートの安定運営の観点から見直しが必要では。
答) 地域公共交通会議で専門家からアドバイスをいただきつつ検討したい。

問) 多摩地域のコミュニティバスで料金100円は35%で他はそれ以上の料金。収支を改善し全ルートの安定運営の観点から見直しが必要では。
答) 地域公共交通会議で専門家からアドバイスをいただきつつ検討したい。

2. 支えあう地域社会の実現のために

問) 介護支援ボランティア制度の実現に向け、地域支援事業の内容を精査して財源の捻出を。
答) まず全体的なボランティアのあり方の整理が必要だが早期に検討を図りたい。

3. 学校の防災機能向上の重要性について

問) 災害時には避難所にもなる学校は、被災後早急に機能の再開を図ることが地域に活力を与え早期の復興にもつながっていく。そのために天井材・窓ガラス・照明器具等の非構造部材の耐震化や安全対策を早急に講じるべき。
答) 大規模改修時に同時に進むよう協議する。

問) 以前提案した歩車道の段差解消への取組は。
答) 指摘を踏まえ境界段差を1センチとする構造を市内5路線42箇所ですべて試験的に採用している。

問) 都道多喜窪通りの坂道区間の安全対策は。
答) 減速マークの路面表示やすべり止め舗装を実施。また都建設局長宛に要望書を提出した。

福祉施策の拡充 行政が責任をもって実施を



日本共産党国分寺市議団 中山 ごう

《旧生きがい事業と地域生きがい交流事業》

問) 旧生きがい事業の通所支援事業からうまれた自主グループは非常に苦勞しながら運営している。市は支援しないのか。
福祉保健部長) 自主グループは施設の優先利用等、急激な変化がないように最大の配慮をしている。

問) 入浴事業は一日40～60人が利用し年間延べ利用者は4万人以上。地域のつながり、コミュニティの場だった。それをお金がかかるという理由で廃止したのは間違い。
市長) 高齢者が尊厳を持ち豊かな人生を生きるには人と人とのつながりを強めることは必要。その視点から今回事業について見直した。

問) 入浴事業は一日40～60人が利用し年間延べ利用者は4万人以上。地域のつながり、コミュニティの場だった。それをお金がかかるという理由で廃止したのは間違い。
市長) 高齢者が尊厳を持ち豊かな人生を生きるには人と人とのつながりを強めることは必要。その視点から今回事業について見直した。

問) 入浴事業は一日40～60人が利用し年間延べ利用者は4万人以上。地域のつながり、コミュニティの場だった。それをお金がかかるという理由で廃止したのは間違い。
市長) 高齢者が尊厳を持ち豊かな人生を生きるには人と人とのつながりを強めることは必要。その視点から今回事業について見直した。

問) 入浴事業は一日40～60人が利用し年間延べ利用者は4万人以上。地域のつながり、コミュニティの場だった。それをお金がかかるという理由で廃止したのは間違い。
市長) 高齢者が尊厳を持ち豊かな人生を生きるには人と人とのつながりを強めることは必要。その視点から今回事業について見直した。

問) 入浴事業は一日40～60人が利用し年間延べ利用者は4万人以上。地域のつながり、コミュニティの場だった。それをお金がかかるという理由で廃止したのは間違い。
市長) 高齢者が尊厳を持ち豊かな人生を生きるには人と人とのつながりを強めることは必要。その視点から今回事業について見直した。

壊してはいけない。旧生きがい事業に戻すことを求める。

《子ども子育て新システムについて》

問) 新システムによって民間保育園は事務量が増え、市の基幹型保育所システムに協力できなくなるのではないのか。
子ども福祉部長) 民間保育園の事務は非常に大きな負担になる。情報を集め各保育園と相談していきたい。

問) 新システムによって民間保育園は事務量が増え、市の基幹型保育所システムに協力できなくなるのではないのか。
子ども福祉部長) 民間保育園の事務は非常に大きな負担になる。情報を集め各保育園と相談していきたい。

問) 新システムによって民間保育園は事務量が増え、市の基幹型保育所システムに協力できなくなるのではないのか。
子ども福祉部長) 民間保育園の事務は非常に大きな負担になる。情報を集め各保育園と相談していきたい。

施設の有料化と 小学校給食民間委託について



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

〈市の施設の有料化を進めていいのか〉

岡部) 施設の値上げ方針の意義と目的は何か。
政策部長) 使用料を取らないのは、本来他の行政サービスに使える市税等をその施設を利用する特定の市民のために使っていることになる。

岡部) 自治基本条例で参加と協働を謳っている。市民意見の募集で寄せられた意見の8、9割方はこの方針に対する否定的な意見。それなのになぜ計画を実行に移そうとするのか。
政策部長) (公民館等は) 趣味の領域で利用されているのがその殆ど。受益者負担の原則に基づいて使用料をいただく。

岡部) 趣味の活動こそ大事。そういう活動を通じて教養を高め、人が集い、地域の繋がりを強めていくものであるはず。計画は撤回すべき。

〈直営の堅持でおいしい小学校給食を〉
岡部) 民間委託されたら給食の作業工程、調理の仕方などどのような変化があるとお考えか。
教育次長) 栄養士と現場の業務責任者との間で綿密な打合せを行い、業務責任者が自社の社員である調理員に対して指示を行うという流れで安全でおいしい給食が提供できる。

岡部) ずっと直営でやってきたものを今度は民間委託するわけで、影響ないはずはない。また、業者が職員の非常勤化を進めようとした場合等、市として業者に必要な指示はできるのか。
教育次長) 市と業者との契約であって、個々の細かいところまで市が指示することはない。

岡部) これ自体が民間委託の問題点。これ迄通りの直営による小学校給食の堅持を求める。

岡部) これ自体が民間委託の問題点。これ迄通りの直営による小学校給食の堅持を求める。

岡部) これ自体が民間委託の問題点。これ迄通りの直営による小学校給食の堅持を求める。

岡部) これ自体が民間委託の問題点。これ迄通りの直営による小学校給食の堅持を求める。

岡部) これ自体が民間委託の問題点。これ迄通りの直営による小学校給食の堅持を求める。

北口再開発の 事業見直しを決断すべき



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆国分寺駅北口再開発について◆市長は「財政の許す範囲で進める」としてきたが、事業費の具体的な上限数値を示すべきだ。

市長) 再開発事業もその時の状況によって異なってくる。財政の枠組みも年度ごとによって変わってくるわけで、明確な数字を求めるという姿勢自体が私には理解できない。

幸野) 上限を示さないから歯止めがなくなっている。財政も危機的になっている。今後について事業の消費税増税による影響はどうか。

部長) 税率8%で7.2億円の影響があり、民間
次ページに続く ↓

事業者ヒアリングの結果、増税分すべてを（マンションの）販売価格には転嫁できないと懸念しているが事業への参加意欲は変わらないとのこと。

幸野 今後、東日本の復興需要の本格化で建設資材は高騰傾向、労務費も上がり、事業費は更に膨らむ。消費税増税前の駆け込み需要によって事業そのものが成り立たなくなる。事業の見直しを決断すべきだ。

市長 この案でいくのがベスト。スケジュールに従って粛々と進めていきたい。

幸野 ◆家庭ごみの有料化について◆「小金井市との共同処理計画が遅れ、施設の延命化が必要」だとしているが、この責任は市長にあり、市民に有料化を押し付けるのは筋違い。

市長 最終的に責任は市長にある。

幸野 減量に向けた市民への説明も不十分。市長選挙前に有料化でなく、市民に問うべき。

市長 選挙の争点にする考え方は持っていない。

ぶんバス検討に1740万円 市長の決断と指示を



政策市民会議国分寺 皆川 りうこ

人事管理／メンタル面の不調を抱える職員

皆 職員の精神的病気休暇の実態と傾向は？

総務部長 22年度⇒病気休暇67人、精神疾患11人28.6%。17年度以降一桁台だが、増加傾向だ。

皆 風通しの悪い職場も原因の一つではないか。

市長 心身の健康は、社会全体で捉える面と各職場での意思疎通等両面が大事。対応を図る。

皆⇒間違っても市長のパワハラなど無い様に！自治基本条例／施行から3年経過、見直しを

皆 不透明な政策形成過程など条例と異なる実態散見。第三者監視機関の設置を。例⇒草津市政策部長）勉強不足だ。実用性等研究したい。

生きがい交流事業／再構築は強引で市民不在

皆 予算編成に合わせた決定で禍根が残った。新たな方向性の検討はいつから始めるのか？

福祉保健部長 指定管理者制度の検討など25年度中に庁内調整を図り、26年度から導入したい。

皆⇒目的より手法が先行している。本末転倒だ。ごみ減量／さらなる生ごみ減量施策の拡大を

皆 私立保育園にも給食残渣の堆肥化を申し入れよ。堆肥化を実施している学校で登録制、時間も限定的に住民が生ごみを持ち込めるように。

環境部長 保育園は、拡大の視点で調整したい。学校に限らず他の公共施設含め検証したい。

ぶんバス／けやき・万葉、北町ルート、優先ルートは？何が課題でいつまで検討するのか？

皆 地域バスにかかる人件費22年度以降3年間で約560×3=1,740万円。検討に費やしている費用ではないか？市長からの指示と決断が必要だ。

市長 できれば両方同時だが早急に判断したい。

妊娠・出産・育児の トータルな支援体制を



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

岩永 妊娠期の母子保健事業と出産後の子育て支援事業が連携した、継続的かつ包括的な支援体制の強化が求められている。母子手帳交付窓口である市民課と健康推進課が連携し、産前・産後の母子支援に確実につなげることが重要。☑

母子手帳交付時のアンケートを活用し、必要に応じて保健師が電話等でフォローを入れていく。**岩永** 両親学級のカリキュラムについて、出産施設等と行政で内容を役割分担し、地域での仲間づくりや子育てに関する行政情報の提供、父親へのメンタル教育等、行政でしかできない内容へ見直しを。☑ どういう形で実施できるかを含めて対応を図っていきたい。**岩永** 親子ひろばの場所によって参加人数の格差が広がっている。質の向上を図るための再構築が必要では。相談対応や仲間づくりを支えるスタッフのスキルアップに加えて、相談ケースを確実に専門窓口につなぐために、健康推進課のみならず子育て相談室の職員が巡回支援を行い、各課の連携の下に支援体制を構築すべき。☑ 10月中には全ての親子ひろばを一巡したい。**岩永** 育児不安や産後うつ支援のためにも地域の助産院等、既に24時間体制で相談支援を行っている民間事業者と連携し、24時間電話で育児相談に対応できる支援体制を。☑ 庁内の関係機関と連携しながら研究をすすめていきたい。**岩永** これらの課題をふまえ、市長の考えを問う。**市長** 行政と市民、市民活動団体等が手を取り合い、子ども達がすくすくと育っていくようなまちづくりは大事。そういった方向で子育て支援策を充実していきたい。

スポーツ振興で 地域コミュニティの充実を



自民党新政クラブ 本橋 たくみ

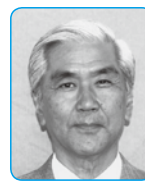
①スポーツ振興について（**本橋**）現状国分寺市はスポーツ施設が乏しい。今年オリンピックイヤーでもあり、なでしこジャパンなどの活躍に心を打たれた方も多かったと思う。ドイツなどでは、スポーツが子どもから高齢者までのコミュニティを形成する上でのまちづくりの核であるという考え方もある。それが、子どもの人間形成に寄与したり、高齢者の医療費の削減につながったりといった考え方もある。サッカーや野球ができる施設が市内には無い状況を見ると、今後どうしていくのか課題である。市ではこの状況をどう考え、長期的にはどうするのか聞きたい。（**市**）議員の言う通り、市ではスポーツ施設が乏しく市民にご迷惑をおかけしている。用地の問題や財政的な課題がある。ドイツなどの例もあるので、研究課題としていきたい。（**本橋**）前向きな検討をお願いしたい。

②新庁舎の検討について（**本橋**）旧庁舎も解体され、市民の中には新庁舎といった期待がある。新庁舎の検討状況を聞きたい。（**市**）次期長期総合計画の中で位置づけていきたい。（**本橋**）早期に実現できるようにお願いしたい。③ごみ行政、ペットボトルについて（**本橋**）現状の拠点回収は限界に来ていると感じる。店などへの排出者責任を強化していくと同時に、個別回収も含めあらゆる方策を検討する時期に来ていると考えるが、どうか。（**市**）現状のやり方は限界に来ている。様々な方策について検討していきたい。

音声配信について

市議会では、平成24年9月3日からの第3回定例会で行われた「一般質問」の模様を、本会議録が完成するまでの間（11月26日予定）、国分寺市議会のホームページで音声配信しております。ぜひご利用ください。
議事担当（内468）

障がい者の就労支援事業の 維持に全力を！



無党派（社民党） 釜我 健二

釜我 = 障がい者就労支援事業Ohanaは、用地の事情で従来規模の事業展開が困難な状況だ。新町一丁目市有地の活用での事業の維持を求める。**副市長** = 市の責任で整理すべき事業だ。課題もあるが新町樹林地の活用を基本に庁内調整中だ。

ごみに関する諸問題について

釜我 = ①改めて小金井市に共同処理の履行を求める。②今回の4,600万円の焼却炉修繕箇所は昨年の総点検で発見できなかったのか。③ごみ処理は本来市税で行うべき。有料化の場合でも君津市方式の一定量無料とすべき。④H24～26年度の生ごみ堆肥化の目標の500世帯はあまりに少ない。5,000世帯ぐらいは目指すべきだ。

市長 = ①小金井市にはたびたび申し入れている。今も鋭意努力中だ。早く報告できればと思う。

環境部長 = ②点検では確認できず突発的に起こった。③均一従量と一定量無料の費用及びメリット、デメリットの比較の資料を示したい。④500世帯目標を大幅に拡大できるよう努めたい。

市の契約に係る課題について問う

釜我 = ①（旧）ひかり保育園の賃借事業者の耐震工事に関する契約不履行のその後の経過は。

②市の委託契約約款は支払い請求日の規定が不明確なので問題が生じている。③市が新基幹システム導入で選定した業者は市の顧問弁護士2人が「ルーズ」と表現した会社だ。市長の所感は。

建設部長 = ①年度内に（耐震工事）は完了予定。

副市長 = ②契約約款変更の方向で調整中だ。

市長 = ③弁護士がルーズと言っている。それを受け止め、是正を求めつつ執行に努めたい。

陳情の審議結果

第3回定例会では陳情3件が提出され継続中の7件と併せて審議した結果、採択1件、継続8件、審議未了1件となりました。

《採択となった陳情》

陳情第24-17号「国分寺駅北口再開発事業の特定建築者選定に当たって敷地処分予定価格を最低制限価格とする条例等の規定を求める陳情」

《継続となった陳情》

陳情第24-3号「ぶんバスの収支均衡型運営を求める陳情」

陳情第24-9号「恋ヶ窪地区に集会施設の確保を求める陳情」

陳情第24-10号「西国分寺駅から東恋ヶ窪交差点まで府中街道にぶんバス路線を求める陳情」

陳情第24-11号「大気汚染調査は従来どおり年2回実施することを求める陳情」

陳情第24-14号「市立小・中学校、市役所などの市の施設の屋上に、再生可能エネルギー設備の設置を求める陳情」

陳情第24-15号「原発問題に関する陳情」

陳情第24-18号「国分寺市生きがいセンター入浴施設利用の再開を求める陳情」

陳情第24-19号「建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情」

《審議未了となった陳情》

陳情第24-16号「国分寺駅北口再開発事業の見直しを求める陳情」

市民との情報共有の スピードを加速せよ。



政策市民会議国分寺 三葛 敦志

【1. 佐渡市交流：新能の復活を】

Q. 今夏、視察した姉妹都市である佐渡市との交流について、シンボルである新能の再開を。

A. 交流は大切。早期に再開を検討。

【2. 観光資源の活用】

・今夏アニメ映画「おおかみこどもの雨と雪」に、日吉町2丁目の階段小道が印象的なシーンで登場。一方、東川篤哉著「放課後はミステリーとともに」で「エックス山」登場。

【3. 弁護士等の法務専門職員の採用】

Q. ロースクール制度で弁護士が急増。即戦力の人材。顧問弁護士では実務と距離がある。

A. 期待ある。受験してもらえよう検討する。

【4. 図書館資料予算削減の影響】

Q. 図書館は人類の叡知への地域の窓なのに、今年度は3割も削減。10年前の半分だ。

A. 来年度に元に戻すのは難しい。

【5. 可燃ごみ有料化の目的】

Q. 財政事情で有料化と明言すべきだった。

A. 「主たる目的はごみ減量」と言ってきた。

Q. 有料化の歳入（年1.5億円）は環境目的とするが、一般財源浮いた分は再開発に回る。

A. “巡り巡って再開発に”との主張は理解。

【6. 市民との本当の情報共有化】

・自治基本条例14条は、市民と「情報の共有」を図る趣旨。市民に対して市政情報が「伝わっているか」が重要なはず。市民を信頼し、恥ずべき内容であっても共有化し、市民とともに悩みながら進む覚悟を持つべき。

A. 「伝わっている」との断言は難しい。

子ども家庭支援センターの 正常化を求める



国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) 今年度の当初予算で収支均衡が達成できたことは評価するが、歳出削減など市民との合意形成が不十分であった。市民自治とは、市民自らが「出づるを量りて入るを制す」こと。市民自らが地域に必要なものを決め、それを実現し

ていくために、行政のみならず市民や事業者それぞれが協働し、金・物・労力・情報などを出し合えるまちを目指すべき。次年度予算編成はぜひともそういう理念のもとすすめてほしい。

市長) 反省を含め、努力してまいりたい。

問) 多様な任用・勤務形態の職員を戦略的・体系的に活用すべき。そのためにも、国会でも質疑があったが、パートタイム労働法の趣旨に則り、非正規職員の待遇改善を図るべきと考える。

総務部長) 国の動向を注視し、対応したい。

問) 退職職員の再任用は、さまざまな批判や課題がある。スキルや経験を地域に活かすため、退職後は市民という立場で、市民と行政との協働を実践してほしいと思うが、いかがか。

総務部長) 他自治体での事例もあると聞く。新たな提案として受け止めさせていただく。

問) 子ども家庭支援センターについては、昨年9月以降、不適切な個人情報取り扱い、市民対応や親子ひろばとの連携など相談支援体制の諸課題等、数々の重大な問題を指摘してきたが、室長や職員には改善に向けた反省が全く見えない。このような事態に対する市長の責任を問う。

市長) 遅くとも今年度中には対応を図りたい。

問) 必要な公園を残すための精査をすべき。

都市建設部長) 確保するための策を研究したい。

税の無駄遣いに反省なし 退職金で補填すべき



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 生きがいセンター戸倉入浴施設改修は21年に設計、22年に工事で1,359万486円。23年6月に再開し、10月には翌年6月で閉鎖すると決定がなされた。この3ヶ年に亘る起案決裁書に全て判を押しているのは担当部としては部長だけだ。税金の無駄遣いにどれだけ責任を感じるか。

福祉保健部長) 電源を重油から電気に変えたが東京電力の値上げや節電を含めて継続は難しいと廃止させていただいた。

甲斐) 他のセンターはガスだ。戸倉もエコキュートで深夜の電気を充電している。震災、節電のせいにするな。こんな無駄がありえるか! まずはおわびすべきだ。かつ突然の閉鎖で利用者も納得していない。

福祉保健部長) 生きがいセンター事業については全体の見直しの中で再構築を図ったこととあります。

甲斐) 全く自分の責任を認めていない。職員組

合の幹部を長年やってきた者の体質だ。私は過去より、降格させるべきと求めてきた。責任者の退職金で、この無駄を補填すべきだ。

家庭ごみ有料化は均一重量制には反対!

甲斐) より一層のごみの減量化、資源化を図るためという有料化の目的、必要性は均一重量制と矛盾する。減量化なら制限量超過分有料だ。

環境部長) 君津市も視察した。甲斐議員が言うように一定量無料に抑えようとの意欲が働いて減量効果があるということです。しかし事務量の膨大、手数料の減少、不安定化も比較した。

甲斐) 収入減を言う事自体、目的と大矛盾だ。

行政は効果的かつ 適切な職務・事務執行を!



政策市民会議国分寺 木村 徳

木村) 6～9月限定の原則全日超過勤務禁止の通年実施を6月議会で求めたが、検討結果は。

総務部長) 約束の目標(以前木村の質疑に答弁した超過勤務15%削減)を達成するために実施する方向だ。(その後庁議決定、現在実施)

木村) 選挙開票事務で、管理職に法的根拠のない手当が支給されている。条例等で規定せよ。

政策部長) 一つは手当に関する条例制定、もう一つは職員を選管職員へ併任させることだが、種々課題もあるので検討の上必要な措置をとる。

木村) 職員研修に関し、事後の効果測定をせよと求めてきたが、その導入・実施状況は。

総務部長) 4月から導入し、研修実施後、目標達成に関する自己と管理職の評価を始めた。(今後継続的に検証して参ります)

木村) 8月からペットボトルを一切回収しないという対応を始めたが、市は市民に対し分別の協力を求め、その求めに応じて分別されたペットボトルは回収しません、というのはおかしい。可燃ごみにペットボトルが混入されていく懸念もある。戸別収集を行うべきだ。

環境部長) ペットボトルの混入は一番懸念している。収集について市民からもたくさん声を頂いており、検討していく。

木村) 北町地域は市の定義で言う交通不便地域か。もしそうならその解決手段は。

都市建設部長) 交通不便地域の位置づけだ。解決手段はぶんバスである。

木村) ではもう結論は出ている。決断を。

市長) 私なりの考え方を10月中位に整理する。

一般会計決算議案に対する討論の要旨

10月1日の本会議で平成23年度国分寺市一般会計決算議案に対する表決に先立ち、各会派等から討論(意見の表明)が行われました。要旨については、一定のスペース内で会派等が自由な様式でまとめたものを討論順に掲載しています。

更なる財政健全化、 市民福祉の向上を求む



自民党新政クラブ 本橋 たくみ(※所属6名・賛成)
※議長は表決に参加していません。

平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定について、賛成の立場で討論させていただきます。

さて、平成23年度は、東日本大震災が発生し、第二回定例会で大型の補正、庁舎基金を廃止して、財政調整基金に繰り入れを行うなど異例の年度であった。また、放射能の測定など、今まで基礎自治体の仕事にはなかったことが、新た

な仕事にもなった。そして、多賀城市への職員の派遣などの迅速な対応は、評価できるものであり、多賀城市に派遣された職員におかれましては、感謝申し上げますとともに、今後の国分寺市政にその経験を存分に生かしてほしいと思う。

国分寺市の財政をみると、経常収支比率が依然として80パーセント台には程遠い状態にある。不測の事態への対応や、高齢者福祉費や、医療費、などの民生費の伸びなどに対応するためにも今後さらなる経営努力というものが求められる。しかしながら、最小の経費で最大の効果をあげる市政運営がなされているとは、この事務報告書や、様々な委員からも指摘があるように、言えないというのが実態である。

国分寺市は、市民税の徴収率などとても高い

水準にあり、職員の努力はさることながら、やはり、市民の納税意識が高いということである。そういった市民の意識の期待に反しないように、市長にはさらなる無駄の削減、事務執行の正確さ、更なる市民サービス、住民福祉の向上に全身全霊をかけて取り組んでいただきたいと思います。賛成討論とする。

会派名の変更について

下記のとおり会派名の変更がありました。

変更前：政策民主会議国分寺

変更後：政策市民会議国分寺

変更日：平成24年9月27日

**ルールに則した事務執行で
厳正な財政運営を**



公明党 なおの 克(所属4名・反対)

昨年度は、東日本大震災を受け、議案第1号を組み替え、増額の大型補正を組む等、非常事態を迎えた予算であった。その中で臨時財政対策債を借りず、公債費率や目標値には届かないものの経常収支比率が改善されたことは一定評価できる。しかし、財政力指数は悪化。基金残高の減少や資金運用は依然、厳しい状況にある。また市税の収納率は高いものの、市税収入は22年度比から減少するなど、歳入も厳しい状況である。これまで一貫して財源確保、既存事業の見直し等を求めてきたが、まだまだ不十分であり、事業の統廃合や経費節減ができない組織の体質があるのは否めない。「本町四丁目臨時自転車駐車場公金横領事件」では、危機管理が求められる事務執行において前指定管理者の不適切な手続きを、市は認識していたが、またしても報告がなかった。そもそも昨年、情報公開が遅れ、説明責任が果たされず、市長から何度も反省の弁が述べられたが、あの反省は何も生かされていない。また「特定健診等データ管理システム」の利用は、個人情報保護審議会において、目的外使用の指摘を受けたにも関わらず、直ちに解約をせず、数年間無駄な繰出金の支出があった。本来の手続きに従えば、貴重な税金を使いこむ事態まで発展する事はなく、このような事態を行政自ら一度も議会や市民に報告をせず、今回初めて明らかになった。このことは、情報の隠蔽、行政に対する不信を招く重大な問題である。市民のために行う事務執行が、市民の不利益になることは残念である。さまざま指摘させて頂いたが、24年度以降は全部署が適正な事務執行をして頂くよう強く求めたい。

隠蔽・重大事務ミス多発はもうたくさんだ。



政策市民会議国分寺 三葛 敦志(所属4名・反対)

【正確性もダメ、妥当性もダメ】決算の帳尻も合わず、支出の妥当性も問題だらけだった。
【明らかになった隠蔽体質】監査委員に指摘されるまで議会・市民に隠した複数の問題が明らかになった。情報を伝えない姿勢は許されない。
【5年計画の総括、不十分過ぎ】目標設定・進

行管理が甘く、市民参加の総括も無い。これらにどう活かされるのかも見えてこない。
【事務事業評価の出し渋り】事務事業評価シートは議会・市民にフルオープンにすべきだ。
【減らない事務執行ミス】誤字・脱字の多発に加え、根拠のない支出（選挙開票事務）・徴収ミス（駐輪場事務）・文書管理（公文書保存年限の違反）等、ミスがあまりに目に余った。
【財政：重大事態の認識が無い】庁舎建設基金15億円取り崩しや繰越金・一時借入金（30億円）でどうか体裁を保つだけ。目先の収支均衡型予算ではなく、将来的な健全化を。
【人権・DV対策：課長「空席」続く】人権・DV対策の重要性を認識しつつも、市長は課長職を部長兼務のままにしている。機構改革の美名の下、無くそうとする意図すら見える。
【高齢者生きがい事業：ちぐはぐが目立つ】事業評価・施策転換・利用者の声を聞く努力のいずれもがちぐはぐで不十分だと判明した。
【重大な違法建築への対応が不十分】東京都からの移管で機能するはずだった「違法建築への対応事務」が不十分。放置は決して許されない。
【消費生活コンサルタントへの謝礼問題】休日割増手当どころか外部研修への報償そのものが問題。今後の調査・報告は隠蔽なきように。

●3年連続の決算不認定だ。市長の責任は重い。

**「市民施策削減、北口再開発優先」
は改めよ**



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章(所属3名・反対)

今後の災害への備えを根本から見直す対応はなされていません。防災倉庫や備蓄品が不十分であり、財政面で重要な基金は一般会計合計で残額わずか27億9千万円と、底をついてしまっています。
臨時財政対策債は、これを借りざるを得ません。そもそもこの制度は本来の地方交付税に戻すべきであるとはいえ、これを借りなければ標準的な市民施策の提供さえ出来ません。返済に当たっては全額が国によって手当てされており、後世にツケを残すことになるとの市の主張に根拠はありません。
国分寺駅北口再開発は、こればかりが予算の聖域とされ、市民の税金から予定では198億円もの多額の支出を行おうとする無謀な計画です。更なる市の財政支出をしなければならなくなる危険があり、市民施策への更なる圧迫、削減につながるものであり、絶対に許すことはできません。根本から見直しをするべきです。
生きがい通所事業については、市は財政が厳

しいことと、これからは地域の人々による高齢者の支えや高齢者自身も自主的に活動することを言うばかりで、肝心の市の果たすべき役割は放棄する態度に終始しています。入浴事業では、利用者の方々の話し合いや説明すら行わずに廃止を決め、怒りの声が寄せられています。敬老会中止は、震災が発生したことは理由にはなりません。市が本来の役割をしっかりと果たすことで初めて地域の繋がりも強められます。
市民施策充実のための財源は、臨時財政対策債を借り、国分寺駅北口再開発計画を根本から見直すならば十分に生み出すことができます。

**市民参加による
全ての施策評価の実施を！**



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代(所属3名・賛成)

平成23年度予算は、まさに3月の予算審査中に起こった東日本大震災を経て、組み替えが行われた。その後6月に提案された補正予算は次年度の予算編成に向けたプロセスでもあることから、平成24年度には収支均衡型の予算編成となり得るのかどうか、更にいつ起こるかわからない大規模自然災害への市民の不安に対応し、セーフティーネットとなり得る財政基盤を強化するためにも、事業の再精査を求めてきた。
そのことを踏まえて、行政のPDCAサイクルの一環として、多くの市民参加のもとに合意形成を図りながら、市民サービス事業の統廃合、スクラップ&ビルドを視野に入れた全ての施策評価の実施が必要であったことを指摘する。
一方で、放射能対策については測定機器を購入した意義は大きく、放射線の影響を受けやすい子どもたちの安全確保に向けて、継続した空間放射線量や給食食品等の測定を実施している。今後は行政だけでなく、市民と連携した取り組みを求める。被災地支援、放射能対応、計画停電や節電対策等、誰もが未経験で混乱した状況の中、市民の「生命・健康・福祉」に多大な影響を及ぼすこと無く市政運営と年間予算を執行し、更には、平成24年度には収支均衡型予算編成を達成できたことについては評価する。
右肩上がりの歳入が見込めない厳しい状況の中で、歳出は扶助費を始めとして膨らんでいくことが予測されている。今後は大規模災害、公共建築物や下水道の改修に対応するためにも、底をついた基金の積み増しを見込んだ更なる事業精査が不可欠である。危機感をもって取り組んでいただくことを要望し、賛成の討論とする。

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況

議案名	議員名																						
	自民党新政クラブ				公明党				政策市民		共産党		ネット		無党派								
	楠井	田中	本橋	新海	井沢	須崎	高橋	さの	木島	皆川	木村	三葛	及川	幸野	岡部	中山	片畑	高瀬	岩永	おざわ	いとう	釜我	甲斐
議案第95号 平成24年度国分寺市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第105号 平成23年度国分寺市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×
議案第107号 平成23年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○		議	○	○	○	○	○	退	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号 平成23年度国分寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○		長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号 平成23年度国分寺市介護保険(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

・表決 (○=賛成 ×=反対 退=退席)
・会派名 (政策市民=政策市民会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)

討論の要旨つづき

隠ぺい体質に陥っている 直ちに脱却せよ！



無会派(みんなの党) おざわ 脩(所属2名・反対)

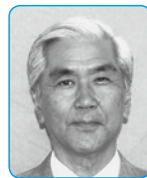
平成23年度決算は東日本大震災に伴い緊急事態等に対応した厳しい予算編成を踏まえたものになりました。本決算における多くの会計事務は適正に行われていたが、決算特別委員会においても明らかになったように、まだまだ多くの事務執行手続きの適正化、さらに効率化が強く求められています。

そして、注視すべき点としては、国分寺市監査委員意見書の中にある重要指摘事項の数々を

多くの機会を有しながらも議会に報告をしなかった点です。行政側にとって都合の悪いことは市民や議会に報告しないという、市民に対する国分寺市の姿勢を表すものである。これは隠ぺい体質そのものであると言わざるを得ません。

よって本決算を無会派みんなの党は不認定と致しました。

あまりに多すぎる 不適切な事務執行



無会派(社民党) 釜我 健二(反対)

本決算を不認定とする理由は次の通り。①旧ひかり保育園賃借業者に23年度も契約不履行を是正させられなかった。②新基幹システムで選定の業者はルーズで、市が数ヶ年「注意」を与え続けてきた会社だ。選定に欠陥があったのでは。

③駐輪場での横領事件は論外だが、市の責任も重い。④市民への説明もない給食調理の民間委託化決定は、自治基本条例に反するやり方だ。

執行がずさんで不適切 自治基本条例を守れ



無会派(無所属) 甲斐 よしと(反対)

不適切な行政執行を挙げると、自転車駐輪場公金横領事件諸問題。特定健診等データ管理システム未利用で支出。選挙管理委員会所管視察の不適切。生きがい事業改変決裁理由の捏造。消費生活相談員謝礼不当支出。カーブミラー、民間事業者が撤去の際の不整合。総括的に一時借入金30億と綱渡りの財政運営は収支均衡予算だけが自己目的化して真の健全化がされていない証。

第3回定例会議案審議結果

第3回定例会には新規29件の議案が提出され、継続中の1件と併せ、同意6件、可決14件、認定7件、不認定1件、継続2件となりました。

議案番号	議案名	議案の要旨	結果
第56号	国分寺市子どもの権利と未来を守ろう条例について	子どもの権利を守るとともに、子育て支援を推進することにより、未来を担う子どもたちがいきいきと元気に過ごせるまちの実現を図る。(提案日平成24年2月24日)	継続
第84号	国分寺市政治倫理審査会委員の選任について	政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、佐々木隆志氏を再任する。	全員賛成・同意
第85号	国分寺市政治倫理審査会委員の選任について	政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、長尾亮氏を再任する。	〃
第86号	国分寺市政治倫理審査会委員の選任について	政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、真野文恵氏を再任する。	〃
第87号	国分寺市政治倫理審査会委員の選任について	政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、山田諭子氏を再任する。	〃
第88号	国分寺市政治倫理審査会委員の選任について	政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、吉野英雄氏を再任する。	〃
第89号	国分寺市事務手数料条例の一部を改正する条例について	各種証明書等の交付又は閲覧に係る手数料を改正するため。	継続
第90号	国分寺市防災会議条例の一部を改正する条例について	災害対策基本法の改正に伴い、所掌事務、委員構成等を改めるとともに、文言を整理する。	全員賛成・可決
第91号	国分寺市災害対策本部条例の一部を改正する条例について	災害対策基本法の改正に伴い、文言を整理する。	〃
第92号	国分寺市障害程度区分認定審査会設置条例の一部を改正する条例について	障害者自立支援法の改正に伴い、障害程度区分認定審査会の所掌事務を追加する。	〃
第93号	国分寺市下水道条例の一部を改正する条例について	下水道法施行令の改正に伴い、下水排除基準を改める。	〃
第94号	国分寺市まちづくり条例の一部を改正する条例について	都市計画法施行令の改正に伴い、文言を整理する。	〃
第95号	平成24年度国分寺市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に6億6,403万5千円を増額し、歳入歳出それぞれ396億3,934万2千円とする。	賛成多数・可決
第96号	平成24年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額から600万7千円を減額し、歳入歳出それぞれ92億2,499万5千円とする。	全員賛成・可決
第97号	平成24年度国分寺市地域バス運行事業特別会計補正予算(第1号)	地域バス運行事業余剰金の確定に伴い、一般会計繰入金477万3千円を減額し、雑入477万3千円を増額する。	〃
第98号	平成24年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	平成25年度からの第二期特定保健指導業務委託事業の準備行為として、事業者選定等を行う必要があるため、債務負担行為の設定を行う。	〃
第99号	平成24年度国分寺市介護保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に7,756万4千円を増額し、歳入歳出それぞれ62億6,793万5千円とする。	〃
第100号	平成24年度国分寺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額から124万3千円を減額し、歳入歳出それぞれ22億4,774万円とする。	〃
第101号	平成24年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額から58万5千円を減額し、歳入歳出それぞれ37億4,584万7千円とする。	〃
第102号	市道路線の一部廃止について	当該市道路線(戸倉3-35-4から戸倉3-50-2まで)は、公共の用に供しておらず、将来にわたり存置する必要がないと認められるため。	〃
第103号	市道路線の廃止について	当該市道路線(起点戸倉3-43-11・終点戸倉3-42-1)は、公共の用に供しておらず、将来にわたり存置する必要がないと認められるため。	〃
第104号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、宮原健志氏を選任する。	全員賛成・同意
第105号	平成23年度国分寺市一般会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入404億9,677万1,825円、歳出393億2,998万3,141円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	賛成少数・不認定
第106号	平成23年度国分寺市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入5億8,306万7,656円、歳出5億8,306万7,656円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	全員賛成・認定
第107号	平成23年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入35億1,298万5,601円、歳出35億1,298万5,601円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	賛成多数・認定
第108号	平成23年度国分寺市地域バス運行事業特別会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入2,823万1,440円、歳出2,823万1,440円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	全員賛成・認定
第109号	平成23年度国分寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入97億4,091万7,479円、歳出102億2,315万1,306円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	賛成多数・認定
第110号	平成23年度国分寺市介護保険(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入59億7,919万5,043円、歳出58億9,931万4,594円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	〃
第111号	平成23年度国分寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入20億4,900万5,025円、歳出20億4,666万9,743円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	全員賛成・認定
第112号	平成23年度国分寺市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	地方自治法の規定により平成23年度決算(歳入39億6,246万4,969円、歳出39億6,133万7,367円)を監査委員の意見書を付け議会の認定に付す。	〃

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成24年第4回定例会は、11月28日(水)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。審議に関連する資料も自由に閲覧できますので、ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。
議事担当(内468)

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成24年第4回定例会(11月28日開会予定)での審議を希望する方は、11月8日(木)までに提出してください。

※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。
調査担当(内581)